

# 平成31（令和元）年度地方創生関係交付金事業 （事業概要）

## （第1部）

1	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	1
2	わくわく茨城生活実現事業	2
3	いばらき地酒バー販売拡大促進事業	3
4	いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト	4
5	いばらき伝統的工芸品産業イノベーション推進事業	5
6	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	6
7	コンテンツ活用ブランド力アップ支援事業	7
8	地方創生人材還流・定着支援事業	8
9	働き方改革・生産性向上促進事業	9
10	外国人材活躍促進事業	10
11	茨城県就職支援奨学金助成事業	11

## （第2部）

12	水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト （地方創生拠点整備交付金を併用）	13
13	安心して暮らせる生活環境づくり総合支援事業	15
14	古民家を活用した茨城ブランド力向上事業	16
15	いばらき創業10,000社プロジェクト事業	17
16	ベンチャー企業創出支援事業	18
17	つくば創業プラザ分室整備事業	20
18	次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業	21
19	繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業	22
20	茨城県工業技術センター施設機能強化事業	23
21	茨城県工業技術センター生産性向上支援拠点機能強化事業	24
22	市民力による歴史遺産活用まちづくりプロジェクト	25

## （第3部）

23	DMO観光地域づくり推進事業	26
24	筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業 （23 DMO観光地域づくり推進事業と重複）	28
25	茨城県立県民文化センター施設整備事業	29
26	ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業	30
27	つくば等の科学技術を活用した成長産業創出プロジェクト	31
28	いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト	33

(資料配布のみ)

29	水産試験場内水面支場研究機能強化事業	35
30	AI 解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「イチゴの栽培環境制御施設」	36
31	AI 解析による新たな農業生産技術及び貯蔵技術研究拠点整備事業「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」	37
32	さつまいも先進的生産技術研究拠点整備事業	38
33	フラワーパークワークショップ施設整備事業	39

# つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト事業概要

R1実績額 92,183千円（地方創生推進交付金）

東京圏のフリーランスIT人材等との継続的な関係を構築することで、本県の地域課題の解決に寄与する関係人口の創出を図るとともに、その受け皿となる県内の地域コーディネーター等との連携を図ることで、東京圏から本県への新しいひとの流れをつくる。また、市町村と連携した情報発信等により移住・二地域居住の促進を図る。

## 1 関係人口の創出

ローカル志向を持つ東京圏の人材を、地域や地域住民との多様な関わりを持ち地域づくりに貢献する「関係人口」として創出するとともに、多様な関わり  
りの機会の受け皿となる地域住民や企業等を県全体で見える化する。

移住ポータルサイト「Re:baraki」の運営

## 2 持続的に「しごと」が生まれる仕組みの構築

「関係人口」が本県地域との関わりながら、地域の活性化や地域課題の解決に取り組むことにより、地域で携わる「しごと」が創出される仕組みを構築する。なお、特に人口減少が進んでいる県北地域においては、クリエイティブ人材に対するコミュニティの育成から「しごと」のマッチングまでを一体的に支援する。

新たな「しごと」を創出する課題解決型プロジェクト(if design project)

企業向け開発合宿のパッケージ化(Camp in IBARAKI)

県北地域へクリエイティブ人材や企業の誘致(県北クリエイティブプロジェクト)

## 3 中間支援プラットフォームの構築

上記の取組を持続可能なものとしていくため、民間の地域コーディネーター等を介した「ひと」と「ひと」と「しごと」のつながりが創出される仕組みを構築

地域コーディネーター人材の確保・育成(STAND, 地域おこし協力隊研修)

都内相談窓口の運営(いばらき暮らしサポートセンター, いばらき移住・就職相談センター)

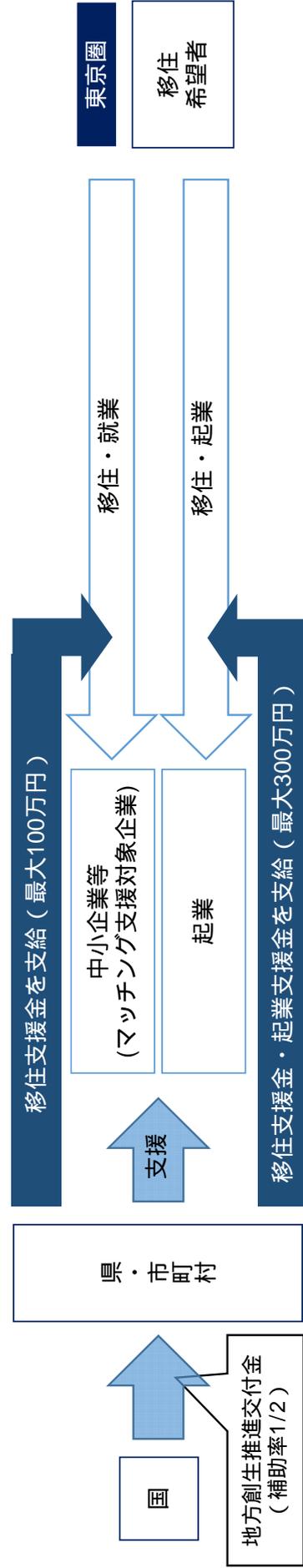
いばらき移住・二地域居住推進協議会の運営

# わくわく茨城生活実現事業

[ R 1 実績額 15,136千円 ]

移住やUIJターンに伴う経済的負担を軽減するため、東京圏から本県への移住者に対して移住支援金を支給する。また、県内経済の活性化を図るため、地域課題の解決に資する効果的な起業をする者に対して、起業支援金の支給や伴走支援を行う。R1年度は32市町村と連携。

わくわく茨城生活実現事業	地域課題解決型起業支援事業
<p>移住支援金の支給 補助額：100万円/世帯，60万円/単身（国1/2，県1/4，市町村1/4） 対象者：次の2つの要件を満たす者 東京23区在住者又は東京23区へ通勤する東京圏在住者（いずれも直前に連続して1年以上かつ直前の10年間のうち通算5年以上）で本県に移住した者 都道府県が運営するマッチングサイトに掲載された支援対象 中小企業等に就業した者又は起業支援金の交付決定を受けた者 申請時期：移住後1年以内かつ就業後3か月以上経過後又は移住後1年以内かつ交付決定後1年以内</p>	<p>起業支援金の支給 補助額：上限200万円 [ 国1/2，県1/2 ] 対象者：次の3つの要件を満たす者 県が地域再生計画に位置付ける社会的事業（地域活性化，まちづくりの推進等）の分野において起業する者 県内において起業する者 公募開始日以降，補助事業完了日までに法人の設立，あるいは個人開業届の提出を行う者 募集時期：7月～8月頃予定 支援対象者に対する採択後の伴走支援，創業後の事業継続支援等</p>
R1実績：1人	R1実績：6人



# いばらき地酒バー販路拡大促進事業

## [目標・方向性]

- ・農産物が輸出規制されている本県において、数少ない戦略商品であり、高付加価値化の可能性を秘めた「いばらき地酒」について、海外・国内での展開を図る。
- ・「いばらき地酒バー（仮）」を拠点に、厳選したいばらき地酒の魅力を発信。
- ・都内や海外において、厳選したいばらき地酒の販路拡大・開拓を支援

[KPI]	2019	2020	2021	累計
販売店や料亭等との商談成立件数(件)	3	6	9	18
県産地酒の課税移出数量の前年度との比較量(キロリットル)	100	100	100	300

## [課題]

酒蔵数39蔵(関東では1位)。酒どころであり、数多くの受賞歴がありながら、課税移出数量は全国26位どまりと低迷。茨城県の地酒の知名度が低い。ブランド力の更なる向上とPR、販売店や料飲店の取り扱い強化を図る。

目標とする将来像 (2021年度までの3年間で地酒の魅力を高め、4年目以降の自走を目標)

## 県産地酒のブランド力の向上と新たな販路開拓

- ・著名人等を活用したブランド力の向上とともに、「いばらき地酒バー（仮）」を拠点とした「酒どころいばらき」を実現する機会の提供。
- ・国内販路に加え、県産品輸出重点国等への海外販路開拓を図る。

## 1 海外販路開拓に向けた取組強化(14,000千円)

- (1) 海外の高級飲食店における地酒コーナーの設置(委託費 7,000千円 -千円)  
・シンガポール(メロン)や加工食品の輸出促進事業と連携)
- (2) 農産物輸出規制地域への地酒輸出促進(委託費 7,000千円 -千円)  
・商社等と連携した現地プロモーションを実施し、具体的な商流形成を促進

## 2 県産地酒のブランド力向上(13,000千円)

- (1) 「いばらき地酒大使(仮)」によるいばらき地酒の選別、PR活動(委託費 3,000千円)  
・影響力の大きな著名人を「いばらき地酒大使(仮)」に任命し、いばらき地酒のうち特に優れた銘柄を選別するとともに、PRに活用
- (2) 県産地酒の販路拡大支援[拡充](委託費 10,000千円)  
・都内高級料理店などへの販路拡大支援事業、地酒パンフレットの作成等を実施

## 3 「いばらき地酒バー（仮）」を拠点とした県産地酒の魅力発信(11,000千円)

- (1) いばらき地酒バー（仮）PRイベントの実施(委託費 4,000千円)
- (2) いばらき地酒ソムリエ(仮)、酒販店・料飲店など流通業者による情報発信・体制整備(委託費 7,000千円)

2020年度(当初予算)、2021年度以降の新たな施策案

- ・地酒グループ(酒販店、料飲店、酒蔵等)による販路開拓の企画コンペティション(優秀な企画に助成)
- ・いばらき地酒アプリの開発(いつでもどこでもお勤め地酒の提案や提供店、イベント等の紹介)
- ・海外の高級飲食店向け事業や輸出促進について、実施国を拡充

9月補正事業内容(38,000千円)  
前回調整時:24,028千円

(単位:千円)

区分	R1.9	R2	R3	計
国補	18,817	26,000	25,000	69,817
一財	19,183	26,000	25,000	70,183
計	38,000	52,000	50,000	140,000

## いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト事業（新規）

【R1.9月補正予算額 20百万円】

産業戦略部産業政策課コンテンツ産業G（029-301-3523）

「eスポーツの拠点・茨城」のブランド化を図るため、国体での大会開催実績を活かし、eスポーツ競技環境の整備や人財育成を進め、関連産業を誘致・創出します。

### 1 eスポーツ競技環境の整備（8百万円）

- ・ 競技活動と人財育成の拠点となるeスポーツ競技場の整備  
（ザ・ヒロサワ・シティ会館への専用機材導入）
- ・ eスポーツ産業創造フォーラムの開催

### 2 人財育成（12百万円）

- (1) いばらきeスポーツアカデミーの開設  
指導者やプレイヤーの育成, eスポーツ関連ビジネスへの参入企業等向け講座の開催
- (2) いばらきeスポーツ大使の委嘱
  - ・ 日本のeスポーツリーダーを大使に委嘱
  - ・ 本県の取組PR, 県内企業等への助言, eスポーツ大会・関連企業の誘致活動を支援
- (3) いばらきeスポーツ推進協議会の運営
  - ・ eスポーツ産業の拠点形成に向けて, 産学官が連携したプラットフォームを設置し, ビジネス参入やイベント開催を支援



# 地場産業に対する支援

産業政策課 地域産業振興室  
(029-301-3585)

R1 予算額: 18,387千円

地酒や石材、菓子等の地場産業及び県指定の伝統工芸品に関する販路開拓・PR等の取り組みの支援に加え、笠間焼の業務用食器市場への販路開拓を推進することにより、本県地場産業及び県伝統工芸品の販路拡大や産地ブランドイメージの向上を図ります。

## 【 主な事業の概要 】

1 地場産業等総合支援事業補助金（組合等が実施する販路開拓，商品開発等への助成）

〔 支援例 〕 ・ 需要開拓・PRのための展示会の開催

・ 後継者育成のための製造技術に係る研修会の実施 など

2 笠間焼のB to B 販路開拓推進

意欲のあるグループを選抜し，販路開拓専門アドバイザーの指導・助言のもと，業務用食器による販路開拓を集中的に実施

3 県伝統工芸士及び工芸品の認定及び県伝統工芸品販路拡大支援

・ 県伝統工芸士及び工芸品の認定

・ 販路拡大支援

伝統工芸品展の開催（県内外各1回），都内セレクトショップ等での試験販売

・ 工芸品パンフレット（いばらき手仕事帖）制作



# プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業

H31当初予算額:45,334千円(地方創生推進交付金)

産業政策課 産業企画G  
(029-301-3525)

「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、民間人材ビジネス事業者と連携して中小企業に必要なプロフェッショナル人材(※)の採用を促進することにより、県内中小企業の成長や経営改善を図ります。

＜拠点開設日：平成27年12月21日 拠点開設場所：(公財)茨城県中小企業振興公社＞

※ 新たな商品・サービスの開発、商品の販路開拓や、個々のサービスの生産性向上などの具体的な取組を通じて企業の成長戦略を具体化していく人材

## 【事業内容】

### ◆拠点の設置

戦略マネージャー、サブマネージャー、アシスタントの配置

### ◆地域協議会の開催

各種産業支援機関等との連携(事業浸透の協力、プロ人材ニーズの情報共有等)

### ◆セミナーの開催・企業訪問

積極的経営の喚起、人材受入の推進、プロ人材ニーズの把握

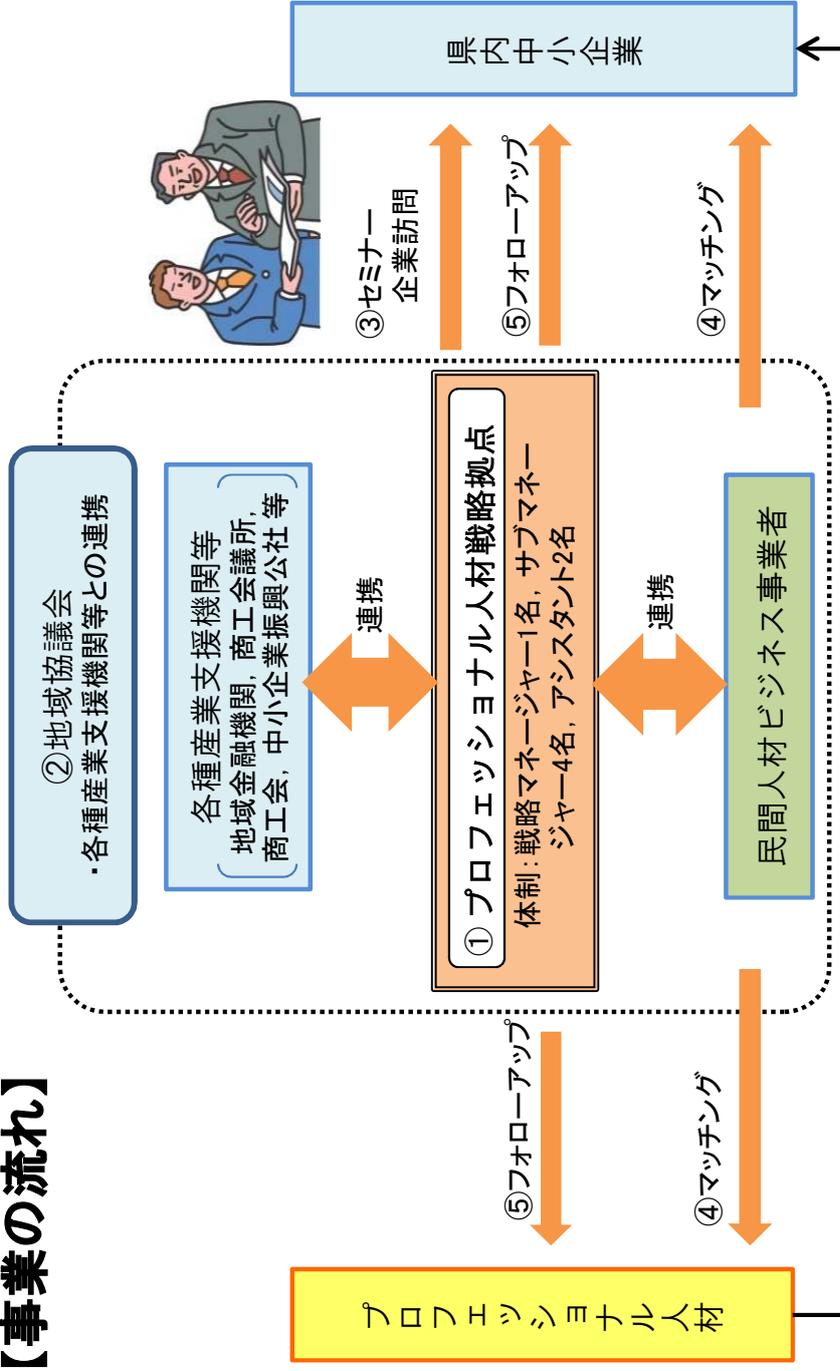
### ◆プロ人材とマッチング

把握したプロ人材ニーズを基に、民間人材ビジネス事業者は、中小企業者とプロ人材のマッチングを実施

### ◆フォローアップ

経営者、プロ人材双方に対するフォローアップを実施

## 【事業の流れ】



プロフェッショナル人材の採用

## コンテンツ活用ブランド力アップ支援事業（新規）

【H31当初予算額 15,585千円】

産業戦略部産業政策課コンテンツ産業G（029-301-3523）

中小企業がコンテンツやデザインを活用した商品・サービスの高付加価値化、販路開拓、ブランディング等を図る取組を支援することで、県内産業の活性化を目指します。

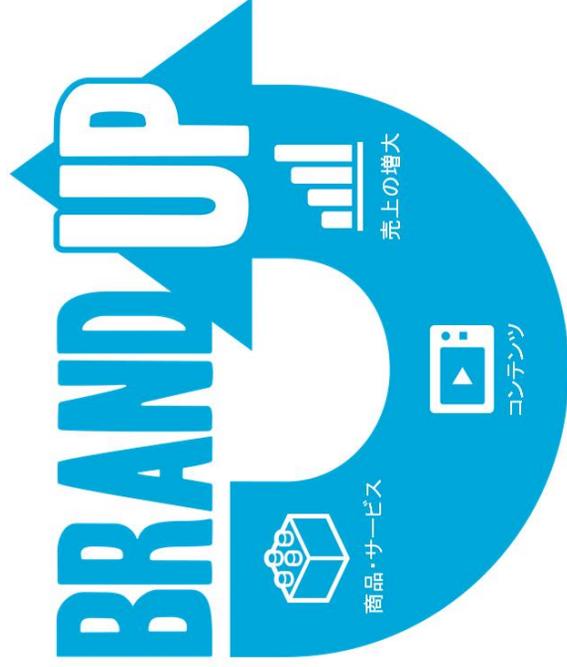
### 1. コンテンツ活用ブランド力アップ補助金

- ・県内中小企業等が、クリエイターを活用して、企業のブランド力・競争力の強化につながる取組を行う場合に、経費の一部を助成
- ・クリエイターを活用した経験が少ない事業者に対しては、経験豊富なクリエイターを配置したワークショップを開催してその取組を支援

【補助対象】 県内中小企業等  
【補助率】 1/2 【補助限度額】 70万円 【件数】 10件

### 2. セミナー、ピッチイベント、相談会の開催

- ・コンテンツの活用事例を紹介するセミナーの開催
- ・クリエイターによるピッチイベント（発表会）の開催
- ・コンテンツ活用に関する相談会の開催



【H31当初予算額 14,581千円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室（029-301-3645）

県内の魅力ある企業の情報発信を強化するとともに、大学や本県産業界と連携して、東京圏等からのUIJターンと県内大学生等の地元就職を促進します。

### 1 UIJターンの促進

大好きいばらき就職応援”くらぶ“の運営

・県内外大学等と産業界が連携し、UIJターンと地元定着に向けた

推進体制を構築

大学で県内企業を紹介する企業説明会の開催

企業向け採用力向上セミナーの実施

・県内の企業向けに、採用担当者の面接力向上セミナーの実施

県内企業に就職した女性と学生等の交流会の開催

・20～30代女性及び女子学生を対象とした交流会を都内及び県内で開催

### 2 インターシップの促進

本県独自のインターシップメニューの提供

・県内企業での経営者随行インターシップ、外国人留学生向けインターシップの実施



# 働き方改革・生産性向上促進事業

【H31当初予算額 40,790千円】

産業戦略部労働政策課労働経済・福祉G (029-301-3635)  
産業戦略部中小企業課経営支援室 (029-301-3550)

多様な働き方が可能な労働環境の整備と生産性向上に意欲を持つ企業に対する集中的・一体的なコンサルティングにより、モデル企業を育成するとともに、働き方改革の取組が総合的に優れた企業の認定制度の創設により、県内企業の働き方改革・生産性向上を促進します。

## 1 企業に対する支援

個別コンサルティング(10社)・成果事例発表会の実施

- ・前年度からの継続支援5社に加え、新たに小規模な事業所を5社募集し、長時間労働の是正や、生産性向上等の改善策を集中的に実施
  - ・コンサルティング実施企業の成果事例発表会を開催
  - ・生産性向上システム導入支援(5社)
  - ・ICTを活用した業務の効率化・付加価値向上につながるシステムの構築・導入経費の支援
- 補助率：1/2(補助上限：200万円)、対象：上記継続支援5社



-コンサルティングの様子-

## 2 企業等に対する普及啓発・取組促進

いばらき働き方改革推進協議会の運営

- ・いばらき働き方改革推進月間(8月・11月)の実施
- ・「仕事と生活の調和推進計画」の策定促進
- 働き方改革優良企業認定制度の創設
- ・ワーク・ライフ・バランス等の働き方改革の取組が総合的に優れた企業の認定制度を創設し、特に優良な中小企業の取組をセミナー等の場で発表



-事例発表会の様子-

## 外国人材活躍促進事業（新規）

【H31当初予算額 75,317千円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室（029-301-3645）

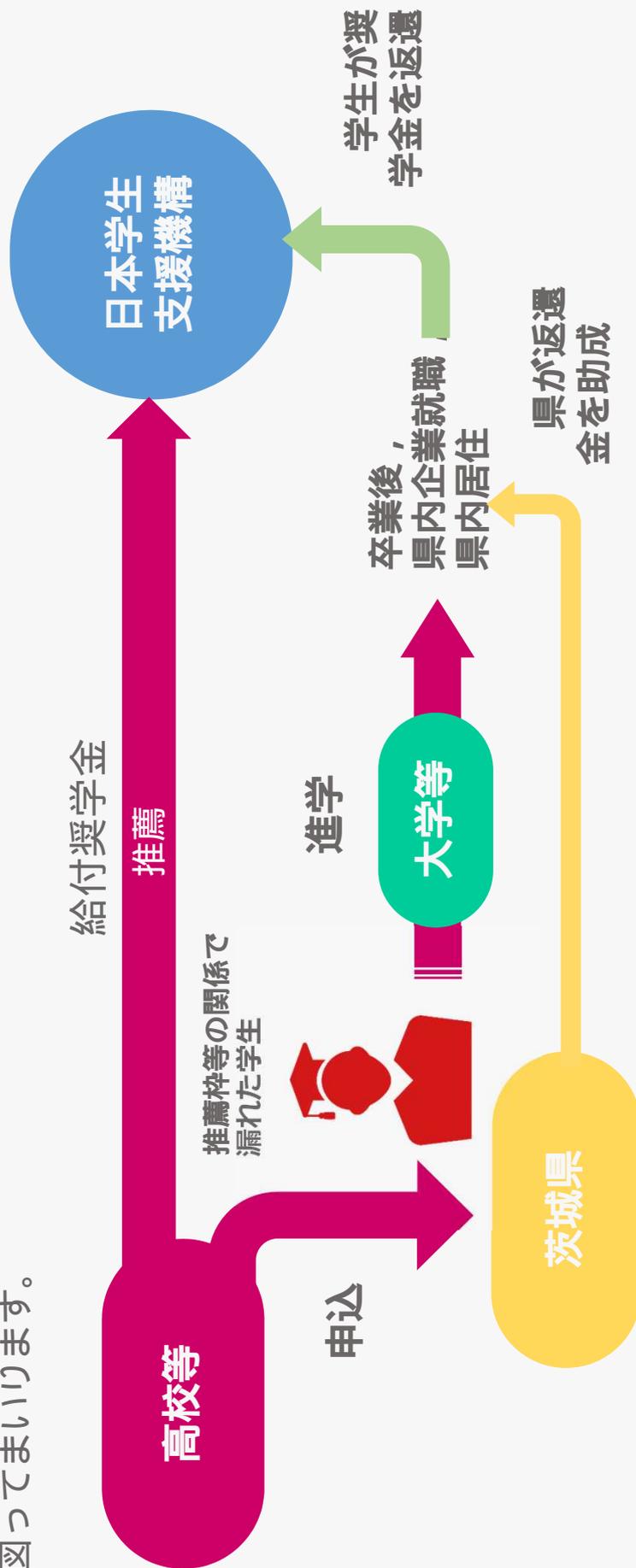
本県の手不足の解消を図ることを目的として、「茨城県外国人材支援センター」を設置し、外国人労働者の人材確保、生活に関する相談、日本語教育支援等を行います。

- 1 外国人材の確保（43,173千円）
  - (1) 県内企業との就職マッチングを行うアドバイザー設置  
企業からの相談受付、「特定技能外国人（帰国した技能実習生等）」と県内企業との就職マッチング  
<対象国>インドネシア、ベトナム、ミャンマー
  - (2) 母国での就職支援  
特定技能及び技能実習生の帰国後の就職サポート体制の構築
  - (3) 特任アドバイザー設置  
介護分野の受入れに係る相談対応、情報収集等
  - (4) 県内企業向けセミナー・研修会の開催  
外国人材の受入れに係る制度周知、日本語指導の方法等
- 2 選ばれる茨城県づくり（32,144千円）
  - (1) 日本語学習支援（eラーニングシステム提供）
  - (2) 県内視察ツアー（生活場所、関連施設等）によるPR
  - (3) 外国人からの各種相談（在留資格、法律、労働、その他生活全般）



## 茨城県「就職支援奨学金助成制度」について

- ・県は今年度から「就職支援奨学金助成制度」を創設。
- ・（独法）日本学生支援機構の「給付奨学金」の要件を満たしながらも、学校推薦枠から外れた生徒が対象（本年度のみ既に進学している対象者も含まず。）
- ・返還の必要のある奨学金（「日本学生支援機構奨学金、茨城県奨学金」など）の貸与を受け、卒業と同時に県内に就職・定住した場合に、奨学金返還の助成
- ・経済的理由により修学が困難な者の進学を後押ししつつ、本県への人材還流・地元定着の促進を図ってまいります。



## 茨城県「就職支援奨学金助成制度」について

- (1) 助成要件
  - ・ 県内の企業等に正規雇用により就職していること
  - ・ 県内に住所を有し，10年間以上定住する予定であること県内に戻ってくるか分からないが，申請可能か→可能です。
- (2) 助成額  
大学等在学中に貸与を受けた奨学金の返還額(上限192万円)  
修学期間により異なります
- (3) 対象人数  
各年度100名
- (4) 助成開始時期  
卒業等により助成要件を満たした時  
実際に奨学金の返還が始まる卒業年の9月から助成を開始。
- (5) 募集期間  
～平成30年12月31日(月) 消印有効

【H31当初予算額 68,830千円】

政策企画部地域振興課サイクリングプロジェクトG (029-301-2735)  
土木部道路建設課県道G (029-301-4431)

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用した国内外からの観光誘客，サイクリングイベントなどでのプロモーション，県道区間の舗装リニューアルなど，ソフト・ハード両面からサイクリング環境の整備に取り組みます。

- 1 国内外からの観光誘客の促進 (19,500千円)
  - ・ 周遊観光を促進する案内看板の設置【新規】
  - ・ サイクリングサポートカーの運行支援【新規】
  - ・ タンデム自転車購入【新規】
  - ・ 広域サイクルーズの運行支援
- 2 サイクルツーリズムの推進を通じた沿線の稼げる地域づくりの推進 (20,305千円)
  - ・ 稼げる地域づくりに向けたマーケティング調査の実施【新規】
  - ・ つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会の活動支援
- 3 ナショナルサイクルートの登録に向けたサイクリング環境の整備 (4,425千円)
  - ・ 自転車走行空間の整備 (※土木部予算)
  - ・ サイクリングガイド (サポーターライダー) の養成
- 4 国内外向けの情報発信 (24,600千円)
  - ・ 国内のサイクリングイベントや海外旅行博等におけるプロモーションの実施
  - ・ 国内外からメディアを招聘したモニターツアーの実施
  - ・ サイクリングマップの増刷 (日・英・繁)



案内看板 (イメージ)



タンデム自転車 (イメージ)



サポーターライダー養成講座

# いばらきサイクルツーリズム等推進事業（新規）

政策企画部地域振興課サイクリングプロジェクトG (029-301-2735)  
 営業戦略部観光物産課観光戦略G・宣伝誘客G (029-301-3617)  
 土木部道路維持課交通安全施設G (029-301-4464)

【H31当初予算額 12,225千円】

各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全体的に推進し、地域の活性化につなげるとともに、自転車活用の普及・啓発に取り組みます。

- 1 誘客の仕掛け (4,000千円)
  - ・モデルコース設定に向けた専門家の派遣、モニターツアー等の実施
  - ・サイクリングガイドの育成
- 2 多様な情報発信 (2,000千円)
  - ・全県版サイクリングマップの作成
  - ・各種媒体等を活用した国内外への情報発信 (※営業戦略部)
- 3 受入体制の整備等 (1,000千円)
  - ・安全で快適な自転車利用環境の整備 (※土木部)
- 4 サイクリングイベントの開催 (1,500千円)
  - ・歴史探訪ツアーやキャンプサイクリングなど多様な楽しみ方を提供するイベントの開催
- 5 自転車活用の普及・啓発 (3,725千円)
  - ・自転車活用の可能性を探るシンポジウムの開催
  - ・県民へ自転車の活用を広く啓発するパンフレットの作成
  - ・市町村版自転車活用推進計画の策定支援

※以外は政策企画部が実施



＜地域の特性や資源を活かしたサイクリング(イメージ)＞

# 生活環境づくり支援事業

政策企画部地域振興課企画調整G 029-301-2732  
 政策企画部東北振興局振興G 029-301-2715

【H31/R1決算額 5,568千円】

急激な人口減少や少子高齢化が進む中，買物支援等の生活支援サービスの維持・確保に取り組む市町村等を支援し，安心して暮らせる生活環境づくりを進めます。

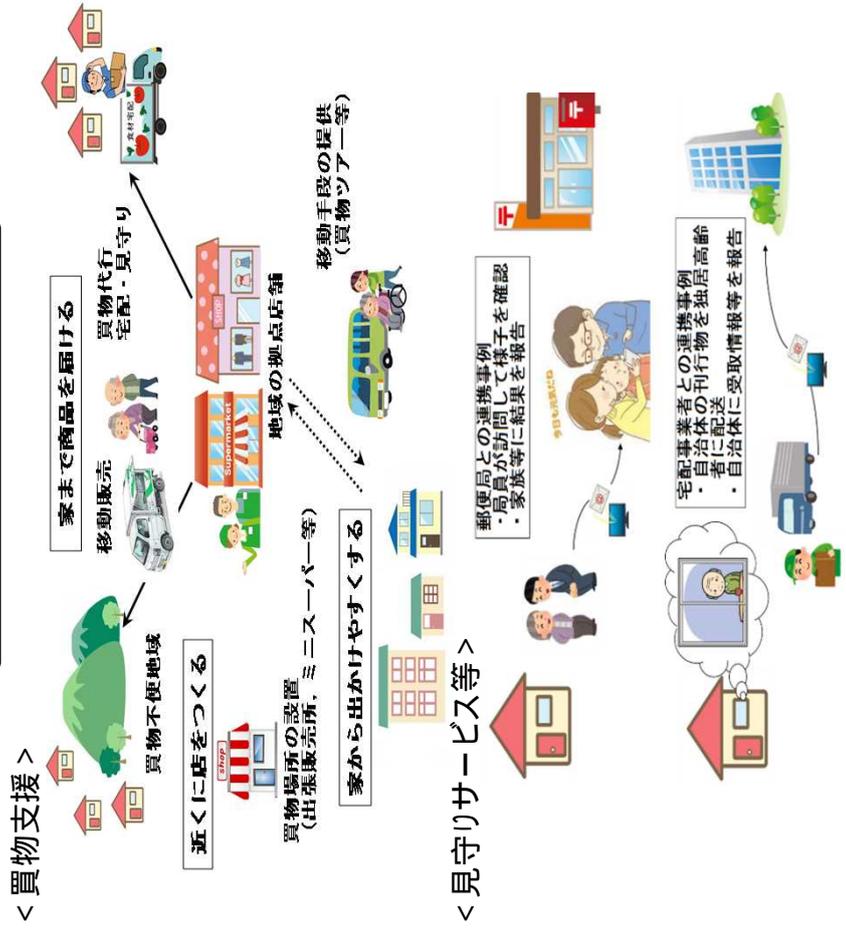
## 事業概要

- <対象事業>
- 仕組みづくり支援
  - 生活支援サービス実施に係る調査，検討・調整等  
補助率：10/10，補助額：上限1,000千円
  - 買物不便地区等への買物支援
    - ・複数地区への移動販売，買物代行サービス等
    - ・出張販売所，ミニスーパー等の設置
    - ・福祉バス等を活用した買物ツアー等の実施
  - 補助率：県1/2，市町村1/2，補助額：上限5,000千円
  - 郵便局，宅配事業者等と連携した見守りサービス等への支援
  - 補助率：県1/2，市町村1/2，補助額：上限5,000千円
  - その他先進的な取組への支援
  - (例)生活支援サービスへのICT活用，貨客混載等
  - 補助率：県1/2，市町村1/2，補助額：上限5,000千円
  - 民間事業者による買物支援と見守りサービス等を合わせたモデル事業
  - 補助率：県1/2，事業者1/2，補助額：上限5,000千円

## <補助要件等>

- ・補助期間：3年間（ただし，ハード整備等は単年）
- ・他の補助金等の交付を受ける事業は対象外

## 事業イメージ



# 古民家を活用した茨城ブランド力向上事業

政策企画部地域振興課交流プロジェクト推進室  
地域資源活用G (029-301-2786)

【H31決算額 14,971千円】

貴重な地域資源である古民家について、地域振興拠点としての多様な活用方法を構築し、県内のサイクリング等の地域資源と連携させながら広域展開を図るとともに、今までにない新たな価値や人の流れを創出し、本県のイメージアップ・ブランド力の向上を図ります。

- 1 古民家改修支援
  - ・対象団体：1市町村（2018年度中にモデルケースを決定）
  - ・対象経費：改修に係る設計費，工事費等
  - ・補助率：原則1/2（上限10,000千円）
- 2 古民家の更なる活用方策の検討
  - ・古民家活用合同研究会における古民家改修等の課題整理・検討
  - ・新たな「古民家改修モデルケース」の設定（2箇所）
  - ・古民家セミナーの開催

上記を踏まえて、2020年度以降、下記の取組を検討

- ・新たな「古民家改修モデルケース」に基づいた古民家の改修支援
- ・古民家フォーラムの開催等による情報発信，広域展開
- ・事業の自立化を促す協議・調整機能の検討 等



訪れてみたい古民家が  
たくさんある！

本県のイメージアップ・ブランド力の向上

地域のにぎわい創出，地域コミュニティの復活，誘客促進，雇用の創出，移住・定住の増加，空き家の減少，伝統技術の伝承等

## いばらき創業10,000社プロジェクト事業費

【H31当初予算額 23,903千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課（029-301-3522）

3年間（平成29～31年度）で10,000社の創業を目指し，創業関係ネットワークを活用した支援を行うほか，大学等における創業気運の醸成や女性の創業支援を行います。

- 1 創業関係ネットワークを活用した支援
  - ・ 構成：県，市町村，創業支援事業者（商工会等），大学，金融機関等
  - ・ 内容：創業支援策の情報共有や情報交換  
創業支援事業者に対する研修の実施  
創業を目指す者等を対象とした相談会の開催
- 2 大学等における創業気運の醸成
  - ・ 内容：創業講座や先輩起業家と交流する機会の提供（対象：5校）  
大学生等を対象としたビジネスプランコンテストの開催
- 3 女性の創業支援
  - ・ 内容：女性専用コワーキングスペースの設置  
女性アドバイザーによるセミナーの開催（回数：12回×2か所）



【H29ビジネスプランコンテスト】



【女性専用コワーキングスペース】

## ベンチャー企業創出支援事業（継続）

【H31当初予算額 65,000千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課イノベーション創出G（029-301-3522）

産学官金が連携し、優れた技術シーズの発掘・事業化から定着までを一貫して支援し、本県から世界に挑戦するベンチャー企業の創出・育成に向けて取り組めます。

### 1 技術シーズの創出

- ・筑波大学や産総研等が連携して行う「つくば産学連携強化プロジェクト」に参加し、共同研究を支援

### 2 創業・事業化支援

- ・大学や研究機関等が持つ先端的な技術シーズを発掘
- ・金融機関や県内外企業とのマッチング等創業・事業化に向けた支援

### 3 ベンチャー企業に対する賃料補助

- ・対象：創業5年以内のベンチャー企業
- ・補助率：1/2（上限240万円/件，3年間）

### 4 ベンチャー企業の表彰

- ・めぶきビジネスアワード（ ）に「茨城県知事賞」を創設（対象：1件，賞金：100万円）  
地域経済の活性化につながる，革新的・創造的な新事業プランを表彰（主催：めぶきフィナンシャルグループ等）



## ベンチャー企業海外展開支援事業（新規）

【R1.9月補正予算額 13百万円】

産業戦略部技術振興局技術革新課  
イノベーション創出G（029-301-3522）

海外展開を目指すベンチャー企業が、海外で資金調達、事業連携できる仕組みを構築するため、1週間のアクセラレーションプログラムを実施します。

### 1 事業概要

- (1)名称：アクセラレーションプログラム in つくば
- (2)講師：海外アクセラレーターからメンター（指導者）を招聘
- (3)対象：県内ベンチャー企業 3～5社程度
- (4)内容：ワークショップ、ピッチ資料作成、ピッチ練習、  
メンター1on1ミーティング、ピッチイベント

### 2 スケジュール

- 10月～ 事業者募集
- 11月 審査・選定
- 12月 プログラム実施
- 1月～ フォローアップ



アクセラレーションプログラム...創業間もないベンチャー企業を早期に発展させる集中的なプログラム

アクセラレーター...起業家等に対して事業成長を加速させる支援を行う組織

ピッチ...投資家等に向けた、アイデアやビジネスプランの短時間でのプレゼンテーション

## つくば創業プラザ分室整備関連事業（新規）

【H31当初予算額 91,526千円】

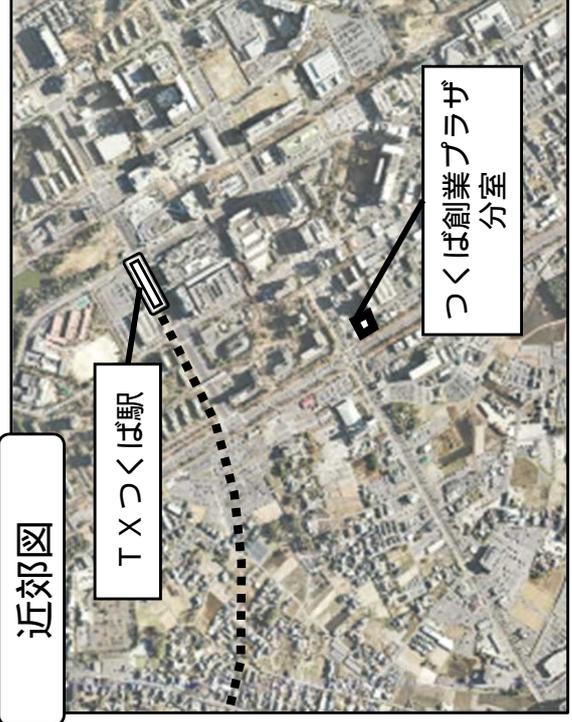
H30最終補正予算額を含む

産業戦略部技術振興局技術革新課イノベーションイノベーション創出G（029-301-3522）

ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るため、東京からも便利なつくばエクスプレस्तつくば駅周辺において、インキュベーション施設（つくば創業プラザ分室）を整備・運営します。

- 1 事業内容
  - ・ベンチャー向けオフィス（約30㎡/室，6室）の提供
  - ・事業活動支援
    - 指定管理者による事業計画策定支援や販路開拓支援，融資相談，各種情報提供などの経営支援
- 2 つくば創業プラザ分室概要
  - ・所在地：茨城県つくば市東新井13-2  
（民間ビルの一部を県が賃借）
  - つくばエクスプレスつくば駅から徒歩約8分
  - ・事業活動支援を行う職員を施設内に配置
- 3 スケジュール（予定）
  - ・9月～ 入居企業募集
  - ・11月まで 施設整備
  - ・12月～ 施設運営開始，オフィス入居

近郊図



# 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（新規）

【R1実績額 93,611千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課技術革新支援G（029-301-3579）

新ビジネス創出による中小企業の競争力強化を図るため，IoT・AI等の知識やビジネス創出ノウハウ等の修得から，ビジネスプラン構築，次世代技術を活用したビジネスの創出・展開まで，一貫した支援を実施します。

## 1 新ビジネス創出のワンストップ支援体制整備

- ・ 統括プロデューサーの設置
- ・ 産業技術イノベーションセンターに「IoT・AI等協創スペース」（コワーキングスペース）を新設し，ビジネス創出の機運醸成とアイデア実証の環境を整備

## 2 新ビジネス創出支援

- (1) IoT・AI等を活用できる人材の育成
- ・ アイデア創出やビジネスプラン構築ノウハウの修得支援
  - ・ IoT等の仕組みを理解し，データ分析・活用できる人材の育成
- (2) ビジネスプラン構築
- ・ 顧客ニーズ等からアイデアを検証・修正し，ビジネスプランを構築する一連の流れをメンター（経験豊富な指導者）が助言
  - ・ ビジネスプランを審査し，優れた案件を選定



## 繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業（新規）

産業戦略部 技術革新課  
技術革新支援G（内線3579）

総事業費 119,076千円（地方創生拠点整備交付金）

多様化，高度化する中小企業のニーズに適切に対応し，ローカルイノベーションの促進に資する試験研究環境を整えるため，工業技術センター繊維工業指導所の改修を行う。

### 整備概要

#### 1 既存施設の改修

##### （1）改修箇所

- ・試験研究棟（各種試験室や研究室など）
- ・事務棟（講堂，デザイン研究室など）

##### （2）改修概要

自動車や航空機産業などへの参入を目指した，高機能繊維，導電性繊維，炭素繊維強化樹脂，プラスチック成形等に関する技術支援へのニーズに対応するため，試験研究，中小企業等との共同研究及び研究開発人材の育成などへの支援強化を目的とし，以下の整備を実施する。

- ・高精度な温度管理が可能となる繊維やプラスチックの試験研究室
- ・企業との共同研究のためセキュリティが確保された研究室
- ・高精度な温湿度環境制御が可能な物理試験室
- ・防塵対策や気密性を確保した炭素繊維強化樹脂に関する研究室
- ・人材育成セミナー等のための研修室
- ・研究成果のPRのための展示室 など

#### 2 改修工事完了予定

平成30年3月



炭素繊維強化樹脂試作品と加工装置



繊維材料の評価  
（強度試験）



機器を活用した  
技術セミナー

# 工業技術センター施設機能強化事業（新規）

H29年度実績額 746,876千円（拠点整備交付金）

産業戦略部技術振興局  
技術革新課技術革新支援G  
(内線3579)

多様化、高度化する中小企業のニーズに適切に対応し、ローカルイノベーションの促進に資する試験研究環境を整えるため、工業技術センターの施設整備を実施する。

## 整備概要

### 1 新棟（IoT / 食品棟）の建設

- (1) 新棟整備概要（予定）  
構造：鉄骨造 2階建，延床面積：約1,800m<sup>2</sup>
- (2) 新棟の機能  
中小企業におけるIoT導入促進や食品産業等への支援を強化  
A 模擬スマート工場を活用したIoT実証実験及びロボット技術者等の育成  
I 3Dデータを活用した製品設計支援  
U 食品成分の分析や発酵食品（日本酒，納豆，漬物等）の研究開発  
工 IoT関連製品開発  
才 地域食材を活用した加工食品の開発や6次産業化の支援 など

### 2 既存施設の改修

- (1) 改修概要（予定）  
管理・機械金属研究棟（精密測定室，電磁波測定室等）  
機械金属試験棟（環境試験室等）  
清酒製造技術研究棟（出麹室等）
- (2) 改修による機能強化  
新製品・新技術開発や人材育成への支援を強化  
ア より高精度な寸法・形状測定，国際規格に対応した電子機器のノイズ測定  
イ セキュリティに配慮した長期環境試験  
ウ 麹作りに最適な環境での清酒製造人材育成 など

### 3 完成

平成30年3月



IoT活用促進に資する模擬スマート工場



清酒製造人材育成研修



発酵食品に関する研究

# 茨城県工業技術センター生産性向上支援拠点機能強化事業（新規）

H30年度実績額 157,126千円（拠点整備交付金）

産業戦略部技術振興局  
技術革新課技術革新支援G  
（内線3579）

- ・製造・組立試験室やCo-workingスペースを整備し、生産性革命に繋がるIoT関連機器開発を支援する
- ・複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室を整備し、高効率・低コストな生産技術開発を支援する

## 整備概要

### 1 製造・組立試験室，Co-workingスペース改修

#### （1）改修概要

- 管理・機械金属研究棟（旧電波暗室，シールドルーム等）を撤去し，
- 製造・組立室およびCo-workingスペースを整備する

#### （2）新棟の機能

- 中小企業のIoT等を活用した新ビジネス創出のための支援を強化
- ア IoT・AI等の次世代技術を活用できる人材の育成
- イ ビジネスプラン構築等各種研修開催
- ウ IoT関連機器の試作開発 など



製造・組立試験室，Co-workingスペース

### 2 複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室改修

#### （1）改修概要

- 機械金属試験棟（生産システム実験室，材料試験室等）を撤去し，
- 複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室を整備する

#### （2）改修による機能強化

- 新製品・新技術開発や人材育成への支援を強化
- ア ダイカストマシンによる事業化（量産化）を考慮した開発支援
- イ 恒温室による材料評価機能の強化 など



複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室  
（ダイカストマシンシステム）

### 3 完成

平成31年3月

県立こころの医療センター旧検査棟（筑波海軍航空隊記念館）改修等事業【概要】

1 現況・課題

筑波海軍航空隊記念館(こころの医療センター旧管理棟)は県有施設であるが、現在、地元笠間市が映画ロケ地としての知名度を活かして、観光施設として利活用を図っている。

しかしながら、施設の老朽化等の課題から恒久的な施設となっていない。

2 目的

歴史的な遺構として将来にわたって利活用が図れるよう、新たな観光及びまちづくり拠点として機能強化を図り、地域の活性化、賑わいづくりの創出につなげる。

3 内容

現在、展示等を行っている、旧管理棟に隣接する旧検査棟の改修などを行い、新たな観光拠点等としてリニューアルを図る。

(1) 事業主体：笠間市

県は笠間市に対して事業費の1/2(64,073千円)を負担金として支出

【市歳出】	笠間市 施設整備費(全額)			
【市歳入】	補正予算債 【充当率100%】 *交付税措置50%	地方創生拠点整備 交付金 (1/2)	地方創生拠点整備 交付金 (1/2)	補正予算債 【充当率100%】 *交付税措置50%
	県分：県から市への負担金		市分	
	交付金及び地域再生計画は市・県連名で申請			

(2) 整備等内容

ア 旧検査棟整備工事

耐震工事の実施、物販施設・研修室としての改修整備等を行う。

イ 旧管理棟耐震予備調査・耐震診断調査

保存・利活用に向けて耐震診断調査等を行う。

ウ 旧管理棟利活用方策検討調査

耐震診断の結果を踏まえ、今後の利活用方策について検討を行う。

(3) 事業期間：平成28年度～平成29年度

(4) 予算額：64,073千円(28補正 地方創生拠点整備交付金)

4 筑波海軍航空隊記念館の概要 H30～

(1) 設置者：笠間市(県から施設を借受けた上で公の施設として管理)

(2) 施設：旧管理棟(鉄筋コンクリート3階, 1,684 m<sup>2</sup>)  
旧検査棟(鉄筋コンクリート2階, 573 m<sup>2</sup>)... 記念館として公開

(3) 運営：筑波海軍航空隊プロジェクト実行委員会(市から指定管理)

(4) 経過：昭和13年 旧司令部庁舎建設  
昭和20年 筑波海軍航空隊解体  
昭和35年 県立友部病院開設  
平成23年 こころの医療センターへ改称・新病院建設  
平成24年 映画「永遠の0」撮影  
平成25年 旧司令部庁舎を記念館として一般公開

# DMO観光地域づくり推進事業

【H31当初予算額 **114,995千円**】

営業戦略部観光物産課（029-301-3617）

地域全体が観光により稼ぐことができる仕組みを構築するため、「DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用」、「魅力ある観光地域づくり」、「本県の特徴（強み）を活かした国内誘客促進」、「稼げる観光産業の振興」及び「筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進」に取り組みます。

<p>1 DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用</p> <p>(1) 観光地域づくりの中核人材の育成・確保 市町村、事業者等を対象としたセミナーの開催</p> <p>(2) 観光マイスターの活用 <b>観光マイスターによるツアーアテンド、情報発信等</b></p> <p>(3) 県域DMOの機能強化 専門人材等の確保に係る費用の支援</p>	<p>3 本県の特徴(強み)を活かした国内誘客促進</p> <p>(1) 若者目線を活用した観光資源の発掘</p> <p>(2) 体験型アクティビティの情報発信強化</p> <p>(3) <b>地域資源を活かしたイメージづくり【新規】</b></p>
<p>2 魅力ある観光地域づくり</p> <p>(1) 宿泊施設の魅力向上 宿泊施設の魅力向上に向けた専門家コンサル ディング実施</p> <p>(2) <b>魅力映画支援【拡充】</b> <b>海外からの作品誘致交渉、ロケーションツアー の支援等</b></p>	<p>4 稼げる観光産業の振興</p> <p>(1) 金網機関等と連携した北関東三県観光物産フェアの開催</p> <p>(2) 第3回茨城おみやげ大賞の実施【新規】</p> <p>(3) 土産品等の販路拡大・ブラッシュアップ支援</p> <p>5 筑波山・霞ヶ浦広域エリアにおける観光連携の促進</p> <p>(1) 観光案内サインの整備</p> <p>(2) 土産品・地元グルメの開発支援</p> <p>(3) <b>筑波山・霞ヶ浦と県内他地域の周遊支援【新規】</b></p>

# Bizitt 茨城・海外誘客プロモーション事業 (拡充)

[ 2019年度予算要求額: 136,411千円(うち交付金対象経費 54,713千円) ] (国際観光課)

今後、一層の増加が見込まれる外国人観光客に対して、これまでにないインパクトのあるプロモーションを展開し、本県観光資源の知名度向上を図り、強力的に誘客促進に取り組む

## 具体的な目標値・KPI (2020年度)

海外からの観光ツアー催行数 ( )は、2017年度実績  
 3,300ツアー (2,721ツアー) 外国人延べ宿泊者数 (230,690人泊)  
 359,000人泊

## 訪日外国人のトレンド

- ・ ツアーから、**個人旅行化(FIT)**へ
- ・ メディア広告から、**SNS, YouTube**へ
- ・ 東京・パリを控え、**北米市場のニーズの高まり**
- ・ 人気観光地の、**大都市から地方**への移行
- ・ **ゴルフツーリズムの需要拡大**

## 新たな課題

- ・ 本県観光資源の**知名度の向上**
- ・ **インパクト**のある情報発信
- ・ **観光ニーズの多様化**への対応
- ・ 受入体制の整備

上記を踏まえて、戦略的プロモーションを展開

## ターゲット

**アジア**  
(団体ツアー)

増加中

**アジア**  
(FIT)

増加中

**欧米豪**  
(FIT)

## 何を売るか

**キラーコンテンツ**  
 ひたち海浜公園 (ネモフィラ・コキア) 借楽園 牛久大仏 袋田の滝 竜神峡大吊橋 つくばサイエンスツアー 日本食・日本酒 歴史・文化・祭り

## コンテンツ 魅力度 UP

- サイクリング
- 抹茶・着付体験
- 写経体験
- トレッキング
- ハンジ・ジャンプ・カヌー
- 宇宙飛行士体験
- 収穫体験・酒蔵巡り

**嗜好**  
 花・果物狩り ショッピング ゴルフ 自然・体験 神社めぐり 農家民泊 歴史・文化 街歩き 外国クルーズ船

## コンテンツの掘り起し

## 最終目的

地域経済の活性化 (観光消費額及び宿泊客数の増)

## 重要政策 (重点取組項目) 2019年度

リアルな情報を **ダイレクト** に発信

茨城県の知名度の向上のため、世界に向けて

**インパクトのあるイベント**をメディアと連携して

**ダイレクトに発信 16,000千円**

新規

茨城ジャックプロモーション(台湾・韓国)

ジャック型広告と連動した誘客プロモーション

**個人旅行者(FIT)が求めているリアルな情報を、多様化する旅行ニーズに併せて、きめ細やかに発信**

**30,754千円**

パワーブロガー, YouTube等の活用による旅行

新規

ニーズに応じたプロモーション(テーマ別)

新規

外資系ホテルコンシェルジュの活用

二次交通対策に向けた県内周遊タクシー等の試験的運行

HPやSNS等を活用した情報発信

**新たな需要拡大に向けたプロモーション 7,980千円**

ゴルフツーリズムの推進 **拡充**

外国クルーズ船の寄港地観光の推進

拡充

**市場戦略に基づくプロモーション 30,055千円**

海外誘客拠点(観光レップ)によるセールス活動

台湾、ベトナム、タイに、新たに**韓国**を追加

拡充

旅行博, 商談会等への出展, 現地旅行会社等との連携

**ツアー造成促進 46,174千円**

誘客体制整備・誘客促進(韓国・タイの強化)

拡充

県内観光ツアー造成支援

**受入体制整備 2,500千円 事務費 2,948千円**

# DMO観光地域づくり推進事業

営業戦略部観光物産課（029-301-3617）

【H31当初予算額 **114,995千円**】

地域全体が観光により稼ぐことができる仕組みを構築するため、「DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用」、「魅力ある観光地域づくり」、「本県の特徴（強み）を活かした国内誘客促進」、「稼げる観光産業の振興」及び「筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進」に取り組みます。

<p>1 DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用</p> <p>(1) 観光地域づくりの中核人材の育成・確保 市町村、事業者等を対象としたセミナーの開催</p> <p>(2) 観光マイスターの活用 <b>観光マイスターによるツアーアテンド、情報発信等</b></p> <p>(3) 県域DMOの機能強化 専門人材等の確保に係る費用の支援</p>	<p>3 本県の特徴(強み)を活かした国内誘客促進</p> <p>(1) 若者目線を活用した観光資源の発掘</p> <p>(2) 体験型アクティビティの情報発信強化</p> <p>(3) <b>地域資源を活かしたイメージづくり【新規】</b></p>
<p>2 魅力ある観光地域づくり</p> <p>(1) 宿泊施設の魅力向上 宿泊施設の魅力向上に向けた専門家コンサル ディング実施</p> <p>(2) <b>魅力映画支援【拡充】</b> <b>海外からの作品誘致交渉、ロケーションツアー の支援等</b></p>	<p>4 稼げる観光産業の振興</p> <p>(1) 金蜘蛛関等と連携した北関東三県観光物産フェアの開催</p> <p>(2) 第3回茨城おみやげ大賞の実施【新規】</p> <p>(3) 土産品等の販路拡大・ブラッシュアップ支援</p>
	<p>5 筑波山・霞ヶ浦広域エリアにおける観光連携の促進</p> <p>(1) 観光案内サインの整備</p> <p>(2) 土産品・地元グルメの開発支援</p> <p>(3) <b>筑波山・霞ヶ浦と県内他地域の周遊支援【新規】</b></p>

## 県民文化センター施設整備事業

県民生活環境部  
生活文化課文化振興(2824)

【H28補正予算額 40,000千円(拠点整備交付金)】

県民文化センターは、本県の文化芸術の拠点施設であり、練習室を増築することで施設の機能強化を図り、利用者の文化活動の発信や相互の交流を活発化させることで、新たな本県の文化を創造するとともに、地域の活性化を図る。

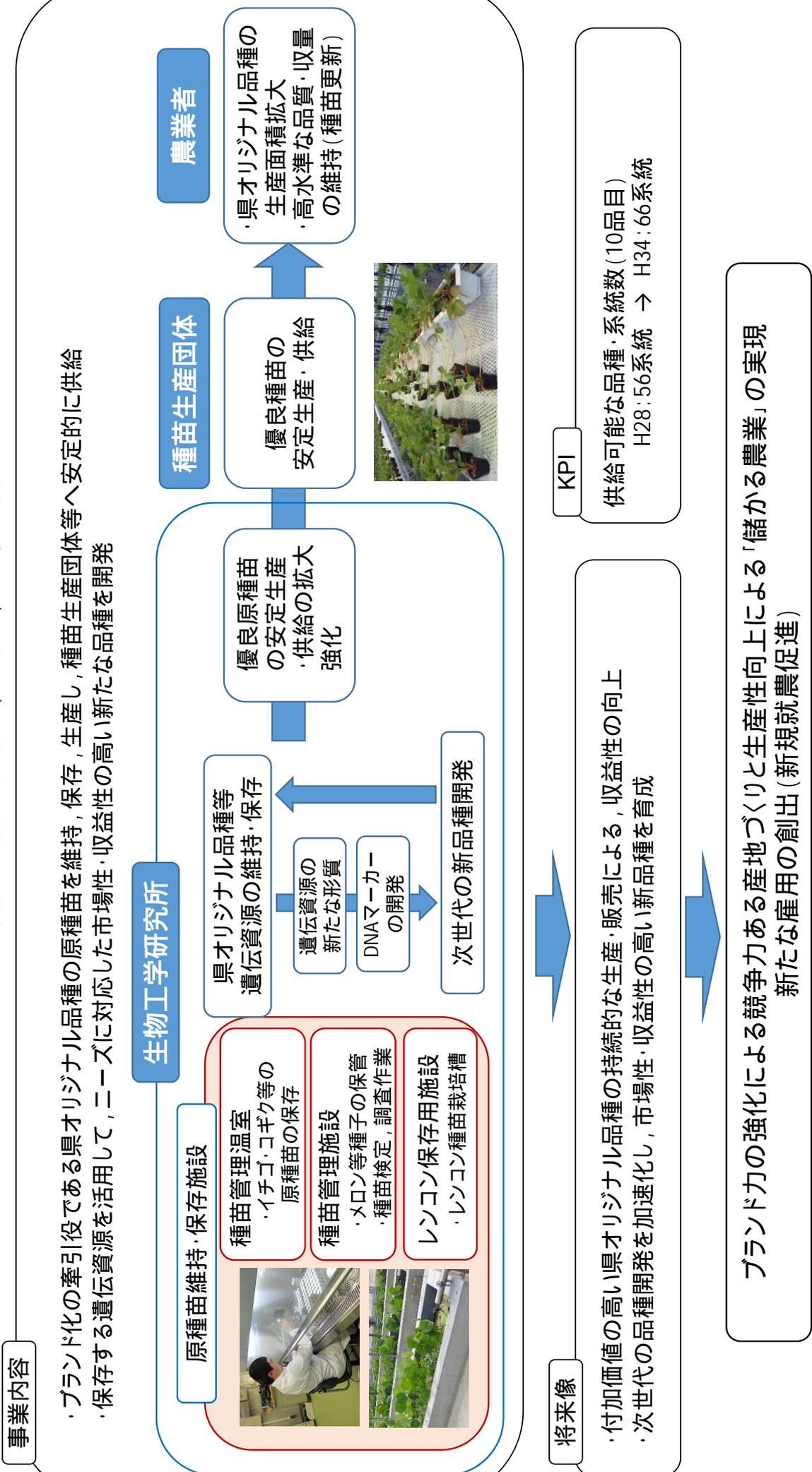
### 県民文化センター練習室増築工事

- ・事業費：40,000千円（実績額：35,288千円）
- ・位置：県民文化センター西側
- ・構造：平屋建て
- ・延床面積：46.53㎡
- ・建築面積：49.44㎡
- ・主な仕様：フローリング，鏡(W6.8m × H2.3m)，トイレ，洗面台
- ・工事完了：平成30年3月
- ・利用開始：平成30年4月～
- ・利用実績：文化団体利用52団体，学生利用21件（H30年度）



# ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業

地方創生整備拠点交付金 (H29補正) 160,731千円



## 近未来技術社会実装推進事業（新規）

【H31年度当初予算 20,898千円】

産業戦略部技術振興局  
科学技術振興課・研究開発推進G（029-301-2499）

AI, IoTおよびロボット等の近未来技術の活用により高齢・人口減少社会の人手不足等の様々な課題解決を目指すとともに、県内における関連産業の振興を図るため、近未来技術の社会実装に向けた研究会を開催します。

### 1. 分野別研究会の開催

ユーザー、メーカー、有識者等が参加する分野別の研究会を開催し、ユーザーニーズの把握、最新技術の情報共有、プロトタイプのパブリックデモンストレーション、サービス提供体制等について協議やマッチングを実施

〔開催予定の分野〕

- ① 農業 ② 医療・介護 ③ 自動運転・移動支援
  - ④ インフラ・防災・エネルギー
- 〔内容例〕
- ・ 本県気候にあった農作物生育予測システムの普及
  - ・ 高齢者見守りシステムの開発・普及
  - ・ 無人自動小型飛行機によるインフラ（河川等）点検技術の開発・普及

### 2. 近未来技術地域実装協議会の開催

関係府省庁を構成員に含む近未来技術地域実装協議会を開催し、技術の実証・実用化に必要な規制緩和等について検討（つくば市と共同で開催）



—無人自動小型飛行機(プロトタイプ)の実演・検証—



— 介護施設での意見交換 —

# グローバルニッチトップ企業育成促進事業

H31当初予算額:31,292千円(地方創生推進交付金)

産業戦略部技術振興局  
技術革新課(029-301-3522)

つくば等の科学技術を活用しながら、医療・介護分野等で機器の開発・普及に取り組む企業を対象に、製品化・各現場への導入促進、販路開拓等まで支援するとともに、医療・介護現場での負担を軽減し、就業促進を図ります。

## 1 本事業の内容

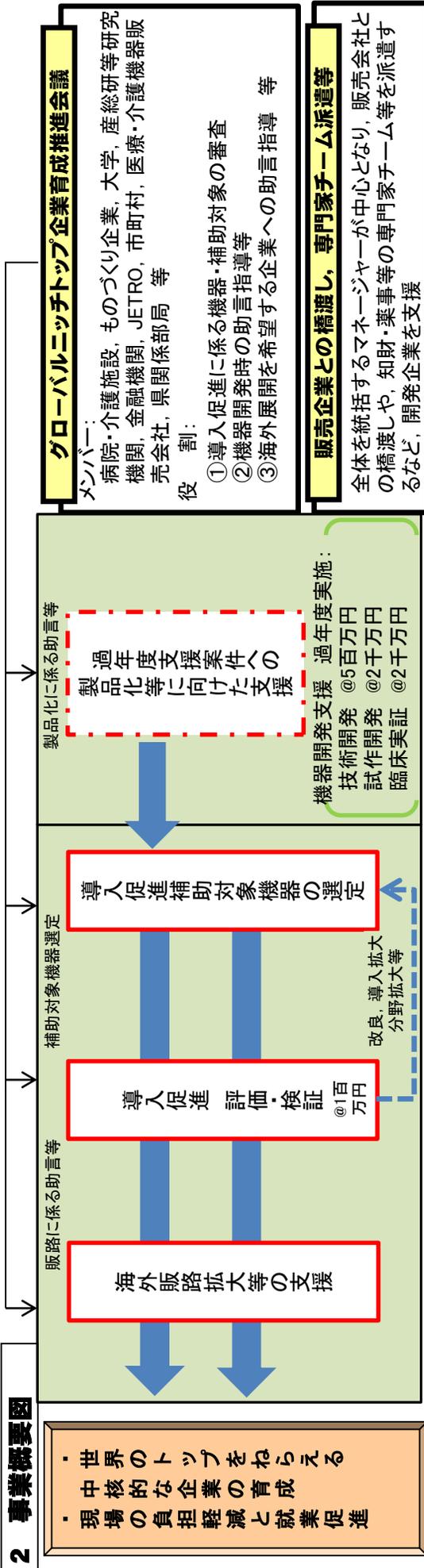
- 機器導入支援等(額は上限)
  - 本事業において開発した、医療・介護現場の課題解決に資する機器を導入する病院・介護施設に対し、機器導入の補助を実施
  - 対象機器は、グローバルニッチトップ企業育成推進会議にて選定

導入促進補助: @100万円 (補助率1/2)

<グローバルニッチトップ企業>  
国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ分野において高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業

- 過年度開発企業における、製品化や販売開始等に向けた計画の策定支援、販売会社との橋渡し等により、開発から販路開拓まで支援  
また、過年度開発した製品のPRR活動を併せて実施

## 2 事業概要図



- 世界のトップをねらえる
- 中核的な企業の育成
- 現場の負担軽減と就業促進

## いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業

【H31当初予算額 105,316千円】

産業戦略部技術振興局科学技術振興課  
特区・宇宙プロジェクト推進室 (029-301-2515)

今後の宇宙ビジネスの市場拡大を見据え、国やJAXA等と連携し、本県の強みを活かして宇宙関連企業が活動しやすい環境づくりに取り組むことにより、宇宙ベンチャー等の創出・誘致と県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入を積極的に推進します。

### 1 宇宙ベンチャー活性化の「場」づくり (11,528千円)

・シンポジウムの開催、衛星データの利用講習会、ベンチャーと投資家とのマッチング等のコミュニティづくり

### 2 宇宙産業の集積に向けた支援 (28,143千円)

- ・ JAXA等が保有する試験設備利用料補助 <補助率 2/3, 上限 80万円>
- ・ 販路開拓 (展示会出展, 現地コーディネーター等) 補助 <補助率 2/3, 上限 400万円>
- ・ 衛星データを活用したソフトウェア開発補助 <補助率 2/3, 上限 400万円>



### 3 産業技術イノベーションセンターへの設備整備等 (46,000千円)

・ 衛星等に搭載する電子機器開発に用いる小型試験設備 (3次元電磁界シミュレータ等) の整備等



### 4 宇宙ビジネス創造プラットフォームの運営 (19,645千円)

- ・ いばらき宇宙ビジネスコーディネーターの配置
- ・ 宇宙ビジネスの創出・参入を目指す法人・個人からの各種相談対応
- ・ 企業や研究機関への訪問を通じたニーズの把握、シーズの発掘
- ・ 県内宇宙関連試験設備の利用案内 等



# いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業

【R1.9月補正予算額 46百万円】

産業戦略部技術振興局科学技術振興課  
特区・宇宙プロジェクト推進室 (029-301-2515)

本県における宇宙ビジネスの拠点形成を加速させるため、新事業創出に向けた事業化実証プロジェクトを実施するとともに、挑戦する企業への支援を拡充します。

## 1 事業化実証プロジェクトの実施 (30百万円) 【新規】

- ・ コンソーシアムに参画する企業等が連携して取り組む事業構想のうち、特に優れているものを認定し、事業化実証プロジェクトを実施
- ・ 「いばらき宇宙ビジネス創造アドバイザー」による助言、ピッチイベント開催、研究開発支援等を通じて、宇宙ビジネスの支援体制を確立

※ピッチ…投資家等に向けた、アイデアやビジネスプランの短時間でのプレゼンテーション



## 2 宇宙産業の集積に向けた支援 (16百万円) 【拡充】

- ・ 販路開拓 (展示会出席等) 補助
  - ・ ソフトウェア (衛星データ活用) 開発補助
- <補助率2/3, 上限400万円/件>  
<補助率2/3, 上限400万円/件>



事業構想

「事業化実証プロジェクト」の認定

アドバイザー、関係機関による助言

### コンソーシアム

※宇宙ビジネスに取り組む企業や関係機関 (JAXA, NE DO, 中小企業振興公社等) で構成する組織体

## 水産試験場内水面支場研究機能強化事業

農林水産部漁政課（029-301-4070）

内水面水産業の成長産業化やチヨウザメの魚類養殖など新産業創出のため、水産試験場内水面支場の研究棟と魚類飼育実験棟を更新し、研究機能を強化します。

### (1) 整備内容

研究棟（重量鉄骨造2階建て）

- ・ 執務室，精密処理室，分子生物学実験室等を整備
- ・ 精密な分析解析，魚病検査，分子生物学的解析を実施

魚類飼育実験棟（重量鉄骨造平屋建て）

- ・ 大型水槽ゾーン，中小型水槽ゾーン，水槽実験ゾーン等を整備
- ・ 試験に応じて大型・中小型水槽を自由にレイアウト可能

### (2) 研究内容

チヨウザメ養殖など新たなニーズに対応した研究  
ワカサギ，ヤマトシジミ，アユ等の既存の試験研究  
を発展・展開

### (3) スケジュール

平成30年度	地質調査，実施設計	等
平成31年度	本体工事，設備整備	等
令和2年度	本体工事	等

## 施設機能強化

多様な飼育試験 分子生物学的手法



AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「イチゴの栽培環境制御施設」

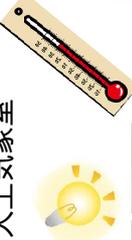
地方創生整備拠点交付金(H29補正) 222,250千円

事業内容

- ・イチゴの高品質・高収量を実現する革新的な栽培技術をAIで解析し、確立するために必要なビッグデータを収集
- ・県オリジナルイチゴ品種「いばらキッス」の収益性・生産性向上を図るための革新的技術の開発とマニュアル化

園芸研究所

人工気象室



画像データ

(生育, 果実形状, 病害虫等)

環境データ

(温湿度, CO2濃度, 明るさ等)

生育データ

(収量, 品質, 生育量等)

作業データ

(施肥量, 水やり, 作業日誌等)

AIによる解析



農研機構などとの連携

- ・イチゴ「いばらキッス」の奇形果・先白果の発生要因の解明と生育指標の作成
- ・AI解析に基づく、高品質・高収量・超省力のための革新的技術開発



奇形果の発生要因解明  
生育状況の画像診断

新規就農者でも実践  
できる革新的な技術  
開発とマニュアル化

普及センター, JA, 農業  
団体との連携による  
現場への普及

将来像

- ・AIやICTなど他県ではまだ取り組んでいない先端技術の開発と現場への速やかな普及
- ・県オリジナルイチゴ品種「いばらキッス」を中心に新規就農者でも実践できる革新的な技術開発とその技術の「見える化」, 「マニュアル化」

KPI

- ・県オリジナル品種いばらキッスの単位面積当たり収量  
H28: 4,000kg/10a → H34: 5,000kg/10a

収益性・生産性の向上による儲かる農業の実現  
新たな雇用の創出(新規就農促進)

# AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」

地方創生整備拠点交付金(H29補正) 98,570千円

## 事業内容

- ・サツマイモの高品質、高収量を実現する革新的な栽培・貯蔵技術をAIで解析し、確立するために必要なビッグデータを収集
- ・サツマイモの計画的、安定的な生産・貯蔵・出荷につながる技術開発とマニュアル化

### 農業研究所



画像データ  
(生育画像, 収穫物画像等)

環境データ  
(温度, 湿度, 土壌水分等)

生育データ  
(つる長, 茎葉重, イモ重等)

作業データ  
(施肥量, マルチ等)



貯蔵環境制御施設



栽培環境制御施設

### AIによる解析



産総研や農研機構  
などとの連携

- ・高品質のための貯蔵条件の解明と長期貯蔵技術の開発
- ・内部障害いも発生条件の解析と判別技術の開発



農業者の安定生産や  
出荷業者等の周年安  
定供給, 輸出に活用  
できる栽培・貯蔵技  
術の開発とマニキュア  
ル化

普及センター, JA, 輸出  
業者等との連携による  
現場への普及

## 将来像

- ・AIやICTなど先端技術を活用した高品質生産技術や長期貯蔵技術の開発と現場への速やかな普及・定着
- ・周年安定供給や輸出促進によるさらなる販路拡大

## KPI

- ・内部障害いも(内部褐変症, 白腐病)の発生メカニズムの解明と非破壊判別技術  
0件→4件

収益性・生産性の向上による儲かる農業の実現  
 新たな雇用の創出(新規就農促進)

## 地方創生拠点整備交付金活用事業 (H30補正予算額 265,206千円)

政策企画部計画推進課地方創生G  
(029-301-2072)

国の地方創生に係る財政支援策である「地方創生拠点整備交付金(H30国補正予算,補助率:国1/2)」を活用し、「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本県の地方創生の実現に向けた取組を推進します。

### 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

農業総合センター地方創生拠点整備 (予算額 20,244千円)

- ・本県農産物のブランド力強化による競争力のある産地づくりと生産性・収益性向上による「儲かる農業」を実現するため、全国に先駆けたA I解析による新たな農業技術を開発する研究施設を整備
- <整備内容>
- ・A I解析による革新的栽培・貯蔵技術開発に必要なビッグデータの収集を図るため、農業研究所にサツマイモの栽培環境を制御する栽培用施設を整備

### 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

つくば創業プラザ分室整備事業 (予算額 62,480千円)

- ・ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るため、東京からも便利につくばエクスプレスつくば駅周辺において、インキュベーション施設(つくば創業プラザ分室)を整備
- <整備内容等>
- ・ベンチャー向けオフィス(約30㎡/室,6室)の提供
- ・事業活動支援を行う職員を施設内に配置

フラワーパーク振興対策事業 (予算額 182,482千円)

- ・民間企業の経営感覚と自由な発想を活かして策定した魅力向上計画を踏まえ、フラワーパークを茨城の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新
- <整備内容等>
- ・ワークショップ施設の整備(展示温室を体験型施設に改修)
- ・ロゴデザイン等制作業務委託(イメージ一新のためロゴや看板を変更)



# 茨城県フラワーパークリニューアル関連事業（新規）

【H31当初予算額 198,558千円】

H30最終補正予算額を含む

営業戦略部観光課観光戦略G（029-301-3617）

民間企業の経営感覚と自由な発想を活かして策定した魅力向上計画を踏まえ、フラワーパークを茨城の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新し、観光客増加と地域経済活性化を図ります。

## 1 事業内容

- ・民間企業の経営感覚と自由な発想を活かした施設の改修等を実施

フラワーパーク魅力向上計画のコンセプト  
「見る」から「感じる」フラワーパーク  
～「ばら」から始まる茨城再発見～

## 2 スケジュール（予定）

- 2019年度（基本設計及び実施設計，施設整備の一部を実施）
  - ・ワークショップ施設の整備  
（展示温室を体験型施設に改修）
  - ・ロゴデザイン等制作業務委託  
（イメージ一新のためロゴや看板を変更）
- 2020年度（実施設計及び施設整備を実施）
  - ・レストラン新設，ローズガーデン改修 等  
リニューアルオープン

## 3 全体事業費

約18億円（地方創生拠点整備交付金を活用予定）

ワークショップ施設整備のイメージ



現在の展示温室

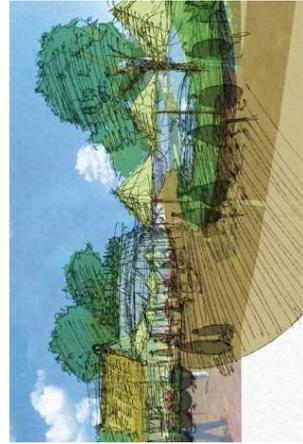


フラワーアレンジメントや木工細工等が体験できるワークショップ施設

レストラン新設のイメージ



現在の犬温室（フラワードーム）



開放感あふれる空間で花や自然を感じながら本県の味を楽しむレストラン